

「文化・芸術・歴史と自治体文化政策」

*事前申込み不要。*参加費は無料。但し、資料代として500円が必要となります。

日時 6月28日(土) 13:30～16:30
(13:00開場)参加費無料
定員250名
先着順

場所 大阪市立歴史博物館 講堂

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32

〈アクセス〉
●地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」9号出口前
●大阪市営バス「馬場町」バス停下車

〈問い合わせ〉シンポジウム事務局: ☎06-6202-2080



I 基調報告 13:30～14:55

「文化事業・文化施設の社会・経済的効果を考える」

- ◆「文化政策と経済を考える」 阪本 崇 京都橘大学准教授 (文化政策学)
- ◆「大阪国際児童文学館——そのローカル性とグローバル性」
三宅 興子 梅花女子大学名誉教授 (児童文学)
- ◆「公の施設の役割とは何か——府立文化情報センターの廃止をめぐって」
音田 昌子 大阪府立文化情報センター所長
(奈良県男女共同参画審議会会長、元読売新聞大阪本社編集委員)
- ◆「自治体文化政策の基本を考える」 中川 幾郎 帝塚山大学教授
(文化経済学会(日本)関西支部長、日本文化政策学会会長)

II パネル・ディスカッション 15:10～16:30

「公共文化政策の意義と役割——大阪府PT案を検証する」

コーディネーター◆ 中川 幾郎

パネリスト◆ 音田 昌子・三宅 興子・阪本 崇

主催:文化経済学会(日本)関西支部

メッセージ 大阪府の文化施設・文化事業の統廃合案について、ご意見をお寄せください。

男性・女性(歳) ご職業() お住まい 大阪府・大阪府以外

*メッセージをご記入のうえ、当日ご持参ください。